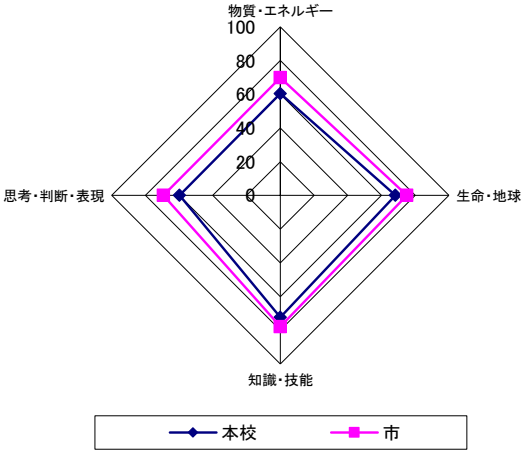
宇都宮市立桜小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	60.5	69.9	67.8
	生命・地球	68.3	75.1	73.7
観点別	知識・技能	72.3	77.8	78.4
	思考・判断・表現	59.8	69.4	66.2

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○物のとけ方に関する問題では，市の平均正答率を上回った。 ●ふりこのきまりと水溶液の性質に関する問題では，すべての項目で市の平均正答率を下回った。 ●体積の変化の違いや物質の状態の変化についての基礎的事項の習熟が不十分である。また，気体という目に見えないものの働きについての理解にも課題がある。	・観察・実験器具の正しい操作を含む観察，実験の技能に課題が見られるため，一人ひとりが操作する機会をできるだけ設け，観察・実験の技能の確実な習得を図る。 ・科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりすることに課題が見られるので，根拠を明らかにした各班での話合いや一人一台端末を利用した学級全体での考察などを通して言語活動の充実を図り，科学的な見方・考え方を育む。
生命・地球	○植物のつくりとはたらきと生物とかんきょうと月と太陽に関する問題では，市の平均正答率を上回った。 ●動物のからだのつくりとはたらきに関する問題では，すべての項目で市の平均正答率を下回った。	・自然現象についての知識を深め，理解したことを適切な用語で説明したり，ノートや一人一台端末に記述したりする学習場面を多く設定する。 ・理科の見方・考え方を使って思考・判断する場面を設定することが大切である。特に生命領域の学習では，共通点・差異点に注目しながら観察を行えるようにして主体的な学びにつなげるようにする。